

裁判所構成法中改正法律案外一件特別委員會會議事速記録第六號

(一五二)

大正十年三月十七日(木曜日)午前十時五十三分開會

○委員長(伯爵松平賴壽君) コレヨリ委員會ヲ開會致シマス、湯淺君ヨリチヨット此前質問ヲ打切りマシタコトデゴザイマシタガ、マダ質問ヲシタイト云フコトデアリマシタガ、改メテ今日湯淺君ノ質問ヲ御許シ致スコトニイタシマシタガ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナラバ湯淺君

○湯淺倉平君 餘リ時間ハトリマセヌ積リデアリマス、少シコレマデ誰方カラモ御質疑ガ出マセヌ點デ、少シ漏ラシテ居リマシタカラ、伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ此兩案共ニアル文字デアリマスガ「本法施行ノ際」トアリマスノハ、本法施行ノ日ト解シテ宜シウゴザイマスカドウカト云フコトデアリマス、ソレガ一點、トソレカラ第二ハ恩給ニ關スル法律案ノ方ノ「本法施行後引續」ト云フ文字デアリマス、此引續キト云フコトカラ考ヘマス、本法施行ノ時ハ現ニ判事デアリ若クハ檢事デアッタ人ガ、後日司法省ノ局長若クハ參事官ニナツテ來マスト云フト、其人達ハ百分ノ五十ノ割増ノ恩給ヲ受ケルコトハ出來ナイ、斯様ニ解釋ガ出來ル様デアリマスルガ、サウ解シテ誤リハナイノデゴザイマセウカ、果シテサウ云フ解釋ガ相當デアルト致シマスルト、構成法改正案ノ七十一條ノ二ノ追加ガ、人オラ本省ニ招クト云フ必要カラ今回追加セラル、ト云フコトニ承ハリマシタガ、ソレト少シ矛盾ヲ致ス様ナ感ジガ、致シマスガ、私ノ解シテ居ルヤウナ解釋デ差支ナイノデアリマセウカ、ソレカラ第三ハ、大正二年法律第七號ニ依ツテ判事ニ休職ヲ命ゼラレマシタ場合ニ、大審院ノ決議ヲ經ラレマシタモノガドノ位アリマスルノデアリマセウカ、大正二年法律第七號ノ實施ノ際ハ、本人ノ意ニ反シテ司法大臣ガ大審院ノ決議ヲ經テ休職ヲ命ゼラレタコトデアラウト思ヒマスガ、コレハ圓滿ニ執

行セラレタ譯デアリマセウカ、此三點ダケヲチヨット伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 御尋ノ第一點第二點ハ御見解ノ通り、即チ其日ヲ謂フノデアリマス、ソレカラ「本法施行後引續」ト云フコトニ付キマシテ、本法施行後若干年月判檢事ニ在職シテ、其後他ノ官ニ轉官ヲ致シマシタ場合ニ於テハ、恩典ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フ、斯ウ云フコトニナル、ソレカラ其次ノ問トシテ然ラバ一方ニ七十一條ノ二ニ於テ在職年數ヲ通算スルト云フコトト矛盾スルコトナキヤト云フ問ヒト承ハリマシタガ、ソレハ全ク方面ノ違フコトデアリマシテ、一方ハ引續キ判檢事トシテ在職シタ者ガ定年齡ノ爲ニ罷メタ者ニ優遇ヲ與ヘルト云フ、斯ウ云フ趣意デ恩給ノ方ハ出テ居ルノデアリマス、此年限ヲ通算シテ五年十年ノ期間ヲ置イテ七十一條ノ二トスルトハ精神ヲ異ニスルモノデゴザイマスカラ、矛盾ハ致シマセヌソレカラ其次ノ御問トシテ大正二年ノ法律施行ガ支障ナク行ハレタカド

ウカト云フ點デゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通り本法ノ優遇法ヨリモト厚クシテ居リマシタカラ、言ハバ喜ンデ退職休職ヲ皆願出ルト云フ状態デゴザイマシテ、確カニ二百三十二人ヲ限ルトカ、二百二十三人デスカ、チヨット記憶ヲ失シマシタガ、兎ニ角二百何名ノ人數ヲ限ツテ休職ヲ命ズルコトガ出來ルト云フ法律デゴザイマシタガ、休退職ヲ願出タ者ガ二百餘人ト云フモノデ、悉ク是ハ任意ニ休退職ヲ願出デマシタカラ、總會ノ決議ヲ經タ者ハ一人モゴザイマセヌ

ル法律ノ方カラ申シマスルト、現ニ判事デアリ檢事デアル人ガ司法省ノ局長トナリ參事官トナルト云フ場合ニ、現ニ此法律ニ依ツテ恩給ノ五割増ニ受クベキ權利ヲ持ツテ居ル人ガ、ソレヲ失フト云フコトニナリマスルノデ、人情トシテハ多少此間ニ躊躇スルト云フ事情ガ起リハシナイカト思ハレル、現ニ判事デアリ檢事デアッテ、其儘定年ニ達スルマデ勤務スレバ百分ノ五十ノ恩給ノ割増ヲ受ケルノデアルノニ、本省ノ局長參事官ニ轉任スルト云フコトニナレバ、其割増ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコトニナリマスルト、英オラ本省ニ御招キニナルト云フ場合ニ、幾分力躊躇スルコトガ人情ノ自然デハ無イカト思ハレル、サウ致シマスルト二ツノ規定ガ其目的ハ違フテ居リマスルケレドモ、本省ニ英オラ招クト云フ場合ニ一ツノ困難ヲ來スト云フコトガ一方ノ規定ニ現ハレテ居ル譯デヤ無イカト思フ、其點ニ付キマシテ今少シク了解ニ苦ミマスノデ、モウ一度御説明ヲ煩ハシタイ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 御意見ノヤウニモ承リマスルガ、此百分ノ五十ノ割増恩給ハ御覽ノ通り六十三、六十五ノ類ニ達シテ初テ此待遇ヲ受ケル權利ヲ生ズルノデアリマス、ソレデアリマスカラ六十ヤ六十一デ罷メタ者ハ此恩給ヲ受ケルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレデ司法省ノ高等官ニ採用スルト云フコトハ、六十三若クハ六十五ニ達シテ定年令ノ適用ヲ受ケ退職ヲ爲シタル後ニ於テ、更ニ他ノ官吏ニ就キマスレバ、一旦、恩給金ヲ生ジマシテ、此法律ニ依ツテ割増恩給金ヲ生ジマシテ、其恩給金ハソレデ定マツテ更ニ新タナル官ニ就イテモ、ソノ一旦生ジタ恩給金ヲ失ハナイ事ニナリマスル、在官中ダケ恩給ヲ貰ヘナイト云フコトニナル、處デ斯ウ云フコトニシタラ、司省法ノ高等官ニ轉官スルコトヲ希望スルモノガ無イヤウニナリハセヌカト云フ御話デゴザイマスルガ、抑々恩給ヲ受ケルノガ六十

三六十五デ無ケレバ受ケラレナイ、司法省高等官ニ

這入りマス者ガ六十三、六十五位ニナツテ這入りラウトハドウモ實際上私ハ思ハヌノデアリマス、大抵三十臺ノ者トカ、四十臺ノ若イ方ノ者トカ云フ者ガ這入ルノデゴザイマスカラ、僅カナ恩給ノ額ヲ得ルコトヲ惜ンデ本省へ這入ルコトヲ厭フト云フコトハ事實無カラウト思ヒマス、又ドウシテモ有り得ベキコトデハ無カラウト思ヒマス

○湯淺倉平君 唯今ノ點ニ付キマシテハ此上ハ見込ノ相違ト云フコトニナリマスカラ、最早、質問ハ致シマセヌ、私ハ質問ヲ是デ終リマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 別段御質問モ無イヤウニ存ジマスルガ如何デゴザイマセウカ、此法案ニ付キマシテ討議ニ入りタイト存ジマスルガ、如何デゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナラバ質問ヲ打切りマシテ、是カラ討議ニ移リタクゴザイマス

○子爵板倉勝憲君 討論ニ這入りマスル前ニ本案ニ對スル修正意見ヲ私ハ出シタイト考ヘマス、ソレハ第七十四條ノ二ノ但書デアリマス、但シ司法大臣ハ控訴院又ハ大審院ノ總會ノ決議ニ依リ五年以内ニ於テ期間ヲ定メ仍在職セシムルコトヲ得、此但書ヲ削リマシテ、ソノ代リニ、但シ控訴院又ハ大審院ノ總會ニ於テ三年以内ニ於テ期間ヲ定メ仍在職セシムヘキモノト決議シタルトキハ其ノ期間滿了ノ時ニ於テ退職トス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 修正案ヲ私ガ讀ミマス「但シ控訴院又ハ大審院ノ總會ニ於テ三年以内ノ期間ヲ定メ仍在職セシムヘキモノト決議シタルトキハ其ノ期間滿了ノ時ニ於テ退職トス」イヤチヨット速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵松平賴壽君) 是カラ速記ヲ始メテ戴キマス、ソレカラ唯今ノ修正ハ申上タ通リデゴザイマス、ソレカラ其修正ニ附加ヘテ附則ノ第三項中ノ五年ヲ

○荒川義太郎君 附則ノ何所ニ入レマスカ
○委員長(伯爵松平賴壽君) 年數デゴザイマスガ、

チヨット此所デ申シマセウ、前項ノ場合ニ於テハ判事ニ付テハ第七十四條云々ト云フ一番下ノ所デ、第八十條ノ二ニ規定スル年齢ニ五年ヲ加ヘタルモノヲ超ヘテ在職セシムルコトヲ得ス「トアル」五年「ラ」三年ニ改メマス

○湯淺倉平君 チヨット伺ヒマスガ、八十條ノ二ニ付テハ御修正ガナイノデゴザイマスカ

○委員長(伯爵松平賴壽君) 板倉サンニ伺ヒマスガ

○子爵板倉勝憲君 判事ト同様

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナラバ判檢事モ同様デスカ

○子爵板倉勝憲君 サウデゴザイマス「三年」ト致シマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレデハ「三年」ト致シマス、第八十條ノ二ノ「司法大臣ハ五年以内」ヲ「三年以内」ト云フコトニ致シマス、三年以内「トスル」方ガ宜シウゴザイマスカ

○子爵板倉勝憲君 サウデゴザイマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナラバ、委員長カラモウ一應申上ゲマス、修正案ハ第七十四條ノ二ノ但書ヲ「但シ控訴院又ハ大審院ノ總會ニ於テ三年以内ノ期間ヲ定メ仍在職セシムヘキモノト決議シタルトキハ其ノ期間滿了後ニ於テ退職トス」ソレカラ第八十條ノ二デゴザイマス、但書ヲ「司法大臣ハ五年以内ニ於テ」ト云フ「司法大臣ハ三年以内ノ期間ヲ定メ在職セシムルコトヲ得」ト云フコトニ修正ニナリマシタ、ソレカラ附則ノ「前項ノ場合ニ於テ」云々ト云フ下ノ「第八十條ノ二ニ規定スル年齢ニ五年ヲ加ヘタルモノヲ超ヘテ在職セシムルコトヲ得ス」ト云フ「五年」ヲ「三年」ト云フコトニ修正ニナリマシタ

○子爵板倉勝憲君 チヨット修正ノ意味ヲ申上マスガ、是ハモウ別段申上ル必要ハゴザイマセヌノデ、第七十四條ノ二ノ但書ハ實際ニ於テハ無論司法大臣ハサウ云フ偏頗依估ノ沙汰ハナイト信ジマスガ、法律ノ形式上矢張り何カ行政權ガ、裁判官ノ身上ニ容喩スル様ナ嫌ヒガアルヤウニ見ヘル、依テ今ノヤウナ修正意見ヲ出シタノデアリマス、之ニ依リマスレバ司法大臣ハ發議シテ停年ニ達シタ者モ或ル者ハマダ

身心共ニ衰弱シナイト認メテ、之ヲ勿論選擇スル權ガアル司法大臣ハ地位ニアルヤウニ考ヘラレルノデ、ソレヲ全然廢メマシテ、總テノ退職期間ニ達シタ年齢ニ達シタ人ハ、裁判官ト致シマスレバ總會ノ決議デ此人ハ尙ホ衰弱シテ居ラヌカラ、退職セシムベカラズト定メルカ、又ハ夫ガ反對ノ決議ニナルカト云フコトハ、司法大臣ノ手ヲ離レテ、總テ總會ノ決議ニ依リ一列一體、總會ノ決議ニ依ルコトガ至當ト考ヘテ斯ウ修正シタ方ガ宜カラウト云フ 結論ニナツタノデアリマス、ソレカラ「五年」ヲ「三年」ニ改メタコトモ、別段法理上ノ理窟ハゴザイマセヌガ、既ニ六十、六十二ニ達シテ居ル人ニ五年ト云フヤウナ事ハ大層長イコトデ、既ニ法律ノ改正ト云フコトヲ認メタ以上ハ、先ヅ「三年」位ニ延セバ十分デハナイカト云フ考ヘカラ、此「三年」ヲ「五年」ニシタト云フ次第デアリマス、檢事ノ方ノ修正モ「八十條ノ二」ノ修正モ同様ナコトデアリマス、附則ハ無論ソレニ從ッテ字句ヲ改メタト云フコトダケデアリマスカラ、唯ソレダケヲ簡單ニ申上テ置キマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 修正案モ出マシタガ

○山之内一次君 私モ修正案ニ贊成ヲ致シマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 修正案ニ御贊成ガゴザイマスガ、是カラ全體ニ付テ御討議ヲ願ヒタクゴザイマス

○男爵池田長康君 私ハ始メテ、此法案ニ付キマシテハ、冷靜ナル考ヲ以チマシテ、寧ロ憲法ニ牴觸シナイコトヲ希望イタシマシテ此改正案ニ付キマシテ審査シタ譯デアリマス、然ル所其結果ニ於キマシテ矢張り憲法ニ牴觸スルト云フ解釋ヲ取ラザルヲ得ナイ次第デアリマス、其論旨ニ至リマシテハ、最早相當ニ今マデ質問ノ際ニ御了解ガ出來ルコトデアラウト思ヒマスガ、先ヅ憲法第五十八條ノ第二項ノ點ニ付キマシテ、職ヲ官ト見ヨト、斯ウ云フ御説ニ對シテ憲法義解、又當時職ト官ト混用ノ事實、更ニ第二項ヲ適用シタ結果ニ付テ、是ハ免官ノ意デアルト云フ御説明ガアリマシタガ、是ハ十分ナル憲法ニ牴觸セザル御論議ト私ハ見ル事ハ出來ナイ、尙ホ又裁判所構成

法七十四條ト此度ノ改正案ト同一性質デアルト云フ御意見ニモ同意スルコトガ出來ナイノデアリマス、尙ホ此憲法ニ違反セルト云フ點ハ、別論ト致シマシテモ、裁判所構成法自體ガ甚ダ混亂シテ居リマス、現行法ニ於テ既ニ混亂シテ居ルノミナラズ、今度ノ改正案ニ依リマシテ、更ニ一層混亂セシムル結果ヲ見ルノデアリマス、是ハ憲法違反以外ニ裁判所構成自體ノ點ニ付テ、私ハ今度ノ改正案ヲ十分ニ考ヘ直シテ、サウシテモウ少シ統一シテ作ラナケレバナラヌト云フ私ハ考テ有テ居リマス、勿論是ハ違反問題ハ別ト致シテ宜イノデアリマス、ソレカラ尙ホ實質ノ問題ニ付テハ多少論議スベキ餘地ガアリマスケレドモ、既ニ憲法ナリ又裁判所構成法自體ノ問題ニ付キマシテハ、既ニ私ハ斯ノ如キ結論ヲ有テ居リマスカラ、事實上ノ點ニ付テハ、最早彼是レ申出デル必要ハ無カラウト考ヘマス、此點ニ付キマシテ私ハ原案ニ對シマシテ、不幸ニシテ反對スル次第デアリマス、尙ホ唯今修正説ガ出マシタ、此修正説ニ對シマシテハ、相當敬意ヲ拂テ研究シタイト考ヘマスガ、既ニ憲法竝ニ裁判所構成法ノ問題ニ付テ、私ハ結論ニ付テ反對意見ヲ有テ居リマスカラ、此修正説ニ付テハ私ハ考慮スル必要ナシ、私ハ之ニ付テ反對ノ者デアリマス

○湯淺倉平君 私モ唯今池田男爵ノ御意見、即チ本案ハ憲法ニ違反シテ居ルモノデアルト云フ理由ヲ以テマシテ、本案否決ノ御意見ニ賛成ヲ致シマス、其理由ニ至リマシテハ、今日マデ數回ノ委員ニ於キマシテ、本案ガ憲法ニ抵觸シテ居ルデハナイカト云フコトニ付キマシテ、質疑應答ヲ重ネマシタ結果ト致シマシテ、豫テ疑フテ居リマシタ點ニ付キマシテ、全ク了解ヲ決メルコトガ出來マセヌノデ、依然トシテ其疑ヲ懷イテ居ル次第デアリマス、故ニ本案否決ノ意見ニ賛成ヲ致シマス、尙ホ其詳細ナル理由ニ至リマシテハ、數回ノ委員會ニ於ケル質疑應答デ自ラ私共ノ懷抱シテ居ル意見ハ明カデアルト考ヘマスケレドモ、何レ本會議ニ於テ詳細ニ其理由ヲ申述ベタイト考ヘマスカラ、此時期切迫勿違ノ際ニ多クノ時間ヲ費シテ此處ニ述ベル必要ハ無イト認メマシテ、ソレハ省略イタシマス

○荒川義太郎君 私モ池田君、ソレカラ湯淺君ノ御意見ト全然一致シテ居リマスノデ、詰リ之ヲ賛成スルノデアリマスガ、無論此憲法ノ解釋ニ至リマシテハ、兩君ノ先日來ノ御議論デ大イニ盡サレテ居リマシテ、憲法上ノ解釋ハ論ジ盡シテ居ルヤウニ考ヘマス、此上ハ自分ハ憲法上ノ解釋ハ別ニシテ、現ニ裁判所構成法七十四條ヲ適用スル意見ハ、差支ナイ、ソレニ依テ今ノ老朽者ナリ、身體衰弱者ナリ保護シテ行ク途ガアリマスカラ、之ヲ正確ニ適用シテ行レバ差支ナイト思ヒマスカラ、旁々今ノ兩君ノ御意見ニ賛成シテ、否決スルト云フ意見デアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 御賛成ノ意見ハナイノデスカ

○子爵板倉勝憲君 私ハ修正意見ヲ出シタ者デゴザイマスカラ、當然此案其モノニハ賛成ノ意ヲ表シテ居ル一人デゴザイマス、時間モゴザイマセヌカラ、私モ簡單ニ酬ユルニ簡單ヲ以テ申上ゲマス、此間ノ質疑應答デ此案ハ憲法違反デアルト云フヤウナ御質問ガ澤山ゴザイマシタガ、政府ノ説明ニ依ツテモ、又私ノ貧弱ナル研究ニ於テモドウシテモ、憲法違反デナシ、又時勢ニ於テ裁判所構成法ノ改正ガ必要デアアル、斯ウ信ジテ居ルノデアリマス、憲法違反デアルカナイカト云フコトニ付テハ、何レ本會議デ湯淺君ナリ、ドナタカラ御論ガ出マセウカラ、是ハ申上ゲマセヌガ、唯第二點ノ裁判所構成法其モノガ既ニ改正ヲ要スル時機ニ達シテ居ル、然ラバ唯コンナ姑息ナ改正ニ止ラズシテ、裁判所構成法其モノヲ十分ニ研究シテサウシテ他日立派ナ成案ヲ作ッテ出シタガ宜イト云フ御議論ハ一應御尤ナ様ニ聞エマスガ、ナカク、斯ウ云フ大キナ法律ノ裁判所構成法ト云フモノヲ、唯簡單ナ修正トカ或ハ改良スルト云フコトハ出來ナイモノデアアルカラ、先ヅ時勢ニ順應シタ簡條簡條デ之ヲ修正シテ、サウシテ他日根本的ノ大革新ヲスルト云フコトノ方ガ當ラ得タモノデアナイカト云フ考カラ、私ハ此案其モノノ自體ニ付テハ賛成ノ考ヲ有ツテ居ル者デゴザイマス、唯ソレ對シテ七十四條ノ二ノ修正ヲ出シタ、是ハ先程理由ヲ申シマシタカラ、此

上ハ申シマセヌ、唯是ダケ賛成ノ意見ヲ...

○委員長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御質疑ガ無イヤウデアリマスガ、是ハ修正ニナッテ居リマスカラ、此構成法中改正法律案ノ第八條二項但書云々ト申ス條項第七十一條ノ二、ソレカラ第七十四條ノ二ヲ第七十四條ノ三トス、是ダケノ三ツヲ議題ト致シマシテ決ヲ採リマス

○男爵池田長康君 唯今ノ板倉サンヨリ御申出ノ修正案ニ付キマシテハ、政府ハ御同意デゴザイマスカ

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 願ハクハ本案ノ如キ、ソレハ十二分ノ考慮ヲ回ラシマシテ十二分ノ審議ヲ經テ提出シタ案デアリマスカラ、何卒出來ルコトナラバ原案通り御協賛ヲ得タイコトヲ切ニ望ムノデアリマス、併ナガラ立法院ノ權能トシテ御修正ガアル以上ハ、是亦是非ニ及バナイ次第デアリマス、ケレドモ願ハクハ原案通りニ御協賛アラムコトヲ幾重ニモ切望スル次第デアリマス、併ナガラ議院ノ權能ニ依ツテ修正スルト言ハレル事デアリマスル以上ハ、是亦據所ナキ次第、斯様考ヘルノ外ハアリマセズ、併ナガラ此二簡條ノ御修正ノ爲ニ、提案ノ大體大精神ヲ没却セラレタモノトハ考ヘナイノデアリマス、大體ノ精神ヲ没却セラレザル限リハ、是非ニ及バズ已ムヲ得ナイ成行デアアル、斯様思フヨリ外仕方ガナイ、相成ルベクハ此原案通りニ行ケバ之ニ超シタルコトハナイ、斯様思フノデアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デス、此三ツノ條項ニ付キマシテ決ヲ採リマス、三ツノ條項ニ御同意ノ方ノ手ヲ御舉ゲテ...

(修正案デスカト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵松平賴壽君) 修正案デハナイノデ、今ノ三ツデス、切リマシテ申上ゲマス

○湯淺倉平君 御採決ノ方法ニ付キマシテテヨット希望ガゴザイマスガ、先ヅ否決意見ヲ御採決ヲ願ヒマシテ、ソレカラ次ニ修正意見ヲ御採決ヲ願ヒマシタナラバ如何デゴザイマセウカ、原案ニ遠イ分カラ...

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナラバ矢張り...

○委員速記ヲ止メテ...

〔速記中止〕

○委員長(伯爵松平頼壽君) ソレナラバ改メマシテ唯今修正ガ出マシタガ、修正案ニ御同意ノ方ハ手ヲ御舉ゲテ願ヒマス

〔舉手者半數〕

○委員長(伯爵松平頼壽君) 半數デゴザイマス、同數デゴザイマスノデ、委員長ト致シマシテ私ガ決ヲ探ラナケレバナリマセヌ、私ハ此修正案ニ御同意ヲ致ス一人デゴザイマス、賛成イタシテ居リマスルカラ、修正案ハ採ルコトニナリマシタ

○荒川義太郎君 否決ノ意見ハ……

○委員長(伯爵松平頼壽君) 御相談ヲ致シマス、モウ一度速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(伯爵松平頼壽君) 改メマシテ採決ヲ致シマス、此原案ヲ否トスル方ハ手ヲ御舉ゲテ願ヒマス

〔舉手者四名〕

○委員長(伯爵松平頼壽君) 丁度半數ニナリマシタ、ソレデハ今度ハ原案ヲ可トスル方ハ……

〔舉手者四名〕

○委員長(伯爵松平頼壽君) 同數デゴザイマスカラ私ハ可ト云フ方ニ賛成イタシマス、修正案ニ付キマシテハ先程ノ採決ノ通り決ッテ居リマスカラ、ソレハ修正案ニ可決ヲ致シマシタ、ソレデハ委員會ヲ閉ヂマス

午前十一時四十二分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 伯爵松平 頼壽君
- 副委員長 荒川 義太郎君
- 委員 子爵酒井 忠亮君
- 子爵板倉 勝憲君
- 男爵島津 久賢君
- 男爵池田 長康君
- 加太 邦憲君
- 山之内 一次君
- 湯淺 倉平君

國務大臣 政府委員

- 司法大臣 伯爵大木 遠吉君
- 司法次官 鈴木 喜三郎君
- 司法省民事局長 山内 確三郎君
- 司法省刑事局長 豐島 直通君
- 司法省參事官 池田 寅二郎君
- 司法書記官 皆川 治廣君
- 司法書記官 近藤 三郎君
- 司法事務官 山岡 萬之助君

少年法案外一件特別委員會議事速記録 第四號中正誤

頁 三 上 行 一 「ケヨロキ」 「フキリンヨロキ」 正